

お茶の水地理学会主催 お茶の水学術事業会共催 講演会

『信州遠山郷—秘境の昨日今日明日—』

磯前睦子氏（お茶の水女子大学地理学科卒 26 回生）

平成 29 年 12 月 2 日(土) 14:00~16:00 お茶の水女子大学 本館 306 号室



磯前氏は南信州の山村での聞き書きを長年続けて来られました。今回は長野県の最南端、秘境といわれる遠山郷について、どのようなところなのか、どのような変化をとげてきたのか、お話しいただきます。

「小さなきっかけが重なって、2010 年から遠山郷に通うようになりました。一枚の田も作ることなく、標高 1000m の斜面で暮らしを立ててきた人々の下栗地区の景観は、なぜそこに、という素朴な疑問を抱かせます。中央構造線の線上を行く塩の道、今や消えかかる秋葉街道、12 月夜を徹して行われる霜月祭り、2010 年に国際的に認定された隕石クレーター等々、南アルプスの神々しい峰々が、南北 20 km の狭く険しい遠山谷に生きる人々と、そこにひっそりと眠る宝物を見守っているようです。2027 年予定の中央リニア開通の暁には、首都圏からの日帰り圏となり、大きく変貌することでしょう。」



<講師紹介>

1955 年東京生まれ。1974 年桜蔭学園高校卒。
1978 年お茶の水女子大学地理学科卒業後、島根県にて中高教諭。
2006 年~2016 年愛知県立農業大学校研究科非常勤講師など。名古屋市在住。
著書に『聞き書き木曾の山バカ物語 林業家柴原秀満の歩いてきた道』（2011、冬花社）、『木曾に聴く 木曾を聴く』（2016、冬花社）など。
寄稿『月刊ねこ新聞』（猫新聞社）『中日新聞』など多数。
『朝日歌壇』入選多数。
—2014. 10. 13 高野公彦選—
はざかけのキビを揺らして下栗の風帰り行く大きな空へ



☆どなたでもご参加いただけます。<入場無料・要予約>

☆当日は大学正門よりお入りください。<東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分>

☆葉書かE-mailで、下記まで、氏名・住所・電話番号を明記し、お申し込みください。<11月20日締切り>

112-8790 文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 文教育学部地理学コース内 お茶の水地理学会

Email:chiriog@yahoo.co.jp